

ラスタ教養大学

言葉文化コース



伊丹市では、ことば文化を大切にする「ことば文化都市」として、人々が心豊かに暮らせるまちづくりを進めています。それに伴い、ラスタホールでは「ラスタ教養大学」【言葉文化コース】を開講。

言葉文化のスペシャリストの先生方をお迎えし、「ことば」についてより広く知り親しめるよう、古典・近代文学、外国文学、俳句文芸、芸術、歴史などをテーマに多様な内容でお届けします。

専門家の幅広い知識や、作品の奥深さに触れ、自らの教養を楽しく深めていきましょう。

日程	講師	テーマ
4月21日(月)	大阪教育大学 特任教授 小野恭靖先生	『平家物語』灌頂巻を読む① 一壇ノ浦の建礼門院一
5月26日(月)	大阪教育大学 特任教授 小野恭靖先生	『平家物語』灌頂巻を読む② 一建礼門院の出家一
7月2日(水) ※曜日に ご注意ください	市立伊丹ミュージアム・ 柿衛文庫 学芸員 加藤有果子先生	直筆でたどる芭蕉の旅
7月28日(月)	大阪芸術大学教授 和泉市久保惣記念美術館館長 河田昌之先生	浮世絵の美と技(わざ) 浮世絵師たちの「ウケ狙(ねらい)」
9月1日(月)	大阪教育大学 教授 石橋紀俊先生	吉野弘の詩の奥行き／生の奥行き
10月20日(月)	大阪教育大学 特任教授 小野恭靖先生	『平家物語』灌頂巻を読む③ 一大原御幸一
11月17日(月)	大阪教育大学 特任教授 小野恭靖先生	『平家物語』灌頂巻を読む④ 一六道の沙汰【前半】一
12月15日(月)	大阪教育大学 特任教授 小野恭靖先生	『平家物語』灌頂巻を読む⑤ 一六道の沙汰【後半】・建礼門院の往生一
2026年 1月5日(月)	武庫川女子大学 教授 古野貢先生	戦国時代のムラの生活と作法
2月9日(月)	大阪大学文学部 教授 山上浩嗣先生	ミラン・クンデラ 『存在の耐えられない軽さ』を読む ——偶然と運命の物語——

時間:14:00~15:30

場所:ラスタホール 3階 講座室

受講料:11,000円(税込・全10回分)

定員:40名

受付開始日:3月3日(月)9:00 来館・電話・インターネットにて受付

○天災・講師の急病等により、日程変更または中止となる場合がございます。

○体調不良の場合は受講をご遠慮いただきますようお願いいたします。

お問合せ・お申込み



ラスタホール(伊丹市立生涯学習センター) TEL 072-781-8877

休館日: 火曜休館(火曜祝休日の場合は翌平日休館)、

年末年始(12/29~1/3) <https://www.lustrehall.com>

インターネットでのお申し込みは、ラスタホールのホームページにある「お申込みフォーム」に必要事項を入力の上、送信してください。

送信後、2~3日たってもラスタホールからの返信が無い場合は、お電話でお問い合わせください。

※お申し込みは来館・電話が優先されます。ご了承ください。

主催

公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 / ラスタホール 伊丹市教育委員会



ラスタホール(伊丹市立生涯学習センター)
〒664-0865 伊丹市南野2-3-25

令和7年度 ラスタ教養大学 言葉文化コース ☆講座内容☆

日程	①4/21(月)、②5/26(月)、⑥10/20(月)、⑦11/17(月)、⑧12/15(月)
講師	大阪教育大学 特任教授 小野恭靖先生
タイトル	『平家物語』灌頂巻を読む
内容	『平家物語』には数多くの女性が登場します。合戦の時代に生を享けた彼女たちの多くは、運命に翻弄されたまま生涯を終えます。本講座では平清盛の娘で、安徳天皇を産んで国母となった建礼門院(平徳子)の後半生の物語を読むことで、武将たちの『平家物語』とは別の『平家物語』の世界を照らし出してみます。

日程	③7/2(水) ※曜日にご注意ください
講師	市立伊丹ミュージアム・柿衛文庫 学芸員 加藤有果子先生
タイトル	直筆でたどる芭蕉の旅
内容	江戸時代を代表する俳人の松尾芭蕉は、50年の生涯において『野ざらし紀行』や『奥の細道』など幾度かの行脚生活に身をおくことによって、世俗の価値観をこえて高い精神性をもった独自の俳諧作品を生み出しました。本講座では、市立伊丹ミュージアムで開催する展覧会に出品予定の芭蕉の旅にかかわる直筆資料をご紹介します。

日程	④7/28(月)
講師	大阪芸術大学教授 和泉市久保惣記念美術館館長 河田昌之先生
タイトル	浮世絵の美と技(わざ) 浮世絵師たちの「ウケ狙(ねら)い」
内容	歌麿、写楽、北斎、広重などの浮世絵師の名前や、「赤富士」「五十三次」などの作品をご存知の方は多いと思いますし、展示会が開催されると多くの方が見に行かれるのは、浮世絵が広く浸透していることを示しています。江戸と上方(大坂や京都)を併せて江戸時代後期に流行した浮世絵についてわかりやすく話をします。

日程	⑤9/1(月)
講師	大阪教育大学 教授 石橋紀俊先生
タイトル	吉野弘の詩の奥行き／生の奥行き
内容	平易な言葉で綴られた吉野弘の詩は、詩が縁遠い高みにあるのではなく、私たちのすぐ隣にあることを教えてください。同人誌仲間だった茨木のり子は、吉野の詩を評して、身近なことから広大な領域へいたると述べています。(『詩のこころを読む』)。吉野の詩を読みながら、私たちが生きることの一端を見つめ直したいと思います。

日程	⑨1/5(月)
講師	武庫川女子大学 教授 古野貢 先生
タイトル	戦国時代のムラの生活と作法
内容	大河ドラマなどで華々しい戦闘や華やかな文化が描かれる戦国時代ですが、そうした特徴を支えた一般の人々の生活や作法はどのようなものだったのでしょうか。今回はリアルな戦国時代の人びとの様子をご紹介します。

日程	⑩2/9(月)
講師	大阪大学文学部 教授 山上浩嗣 先生
タイトル	ミラン・クンデラ『存在の耐えられない軽さ』を読む —— 偶然と運命の物語 ——
内容	チェコ出身でフランスに亡命した作家ミラン・クンデラの世界的ベストセラー小説『存在の耐えられない軽さ』(1984年刊)の読みどころを紹介します。チェコスロバキアの民主化運動「プラハの春」(1968年)と、それに続く同国のソ連軍による占領時代を舞台にした恋愛劇です。人間という存在の運命は軽いのか重いのか？